



限界突破 ～輝くゴールへ走り出せ～ みんなが輝いた体育祭



隊の勝利を信じて、団結力の勝負!

和木中生として最後の体育祭、3年生のやる気がそれぞれの隊に伝わり、そのまま全体のエネルギーとしてグラウンド上に広がっていたことを、皆さんは感じましたか？

天候不順の影響もあり準備不足が懸念されましたが、それでも連日繰り返される練習、3年生のエネルギーは途切れることなく、それが1・2年生にも伝わっていきました。応援団を中心として、白隊も赤隊も練習を重ねるごとに雰囲気明るくなり、みんなが一つのまとまりになっていくさまを目の当たりにして、今年の3年生の力はやはりすごい！と感じていました。体育祭前日までのそんな様子を見れば、当日の盛り上がりは約束されたも同然だったと思います。

最後までまさに、「限界突破」のスローガンにふさわしい体育祭をみんなの手で作りあげることができました。3年生の皆さん、素晴らしい体育祭をどうもありがとう！この力を自信にして、残り少なくなった中学校生活、そして自分の夢に向かって突き進んでいって欲しいものです。



体育祭の活動を通して得たこと、学んだこと(下級生へのメッセージ)

・今年の体育祭は白隊にW優勝をとられました。悔しかったけど、楽しかったという気持ちの方が大きかったです。なぜなら、ぼくはリレーのために鉄アレイを持って坂道を走ったり、夏休みも朝7:00から友達と一緒に走ったり、人事を尽くしたので、そんなに悔しくはなかったです。満足のいく結果にはならなかったけど、係の活動などを通して友達が増えたり、普段しゃべらない人たちともたくさんしゃべりました。ぼくは今年の体育祭の目標で、「人事を尽くして天命を待つ」という目標をかかげました。人事を尽くせば必ずいい事が得られるので、1・2年生は、人事を尽くして、天命を待って下さい。

・とうとう最後の体育祭が終わりました。今年は日程が早かったので、一週間、とにかく忙しかったです。しかし、係活動やクラスの活動など、みんなで協力して何か一つのことをやり遂げようとするのは、すごく楽しいことだな、と思いました。もう来年はみんなバラバラになって、違う場所で違う仲間といる、と思うとさびしい気もするけど、それでも、最後に何か大きな思い出を、皆で作れたんじゃないかなと思っています。本当に、楽しかったです。

急告! : 次回の到達度評価テストは、10月の中間テスト前に行なう予定です。進路だよりも書きましたが、日々の努力の積み重ねをしないと、実力は向上しません。気合いを入れて取り組みましょう。